

あなたの福祉の応援団 

させぼ社協だより



※今回の特集に登場される方の写真を掲載しています。

特集 2025年をどういけますか？

日本の人口は、2010年(平成22年)に約1億2800万人となりピークを迎えましたが、その後は、毎年減少しています。その中で、世代人口の多くを占める団塊世代は、2025年に75歳以上(後期高齢者)となります。

戦後のベビーブーム世代(団塊世代)の多くの方は、すし詰め教室で学び、高度経済成長期の支えとなり活躍され、退職や子育てなどを卒業した後は、様々な楽しみを持ち、地域活動に参加、協力されるなど、いきいきと活動されている方が多くおられます。今回は、その様な団塊世代の方々の活動をご紹介します。

◆特集 2025年をどういけますか？	P2.3
◆「ボランティア活動団体応援プロジェクト」のご報告	P4.5
◆赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金のお礼について	P6
◆お知らせ	P7
◆善意のご芳志ありがとうございました 寄付のお礼について LET'Sあたまのストレッチ	P8

社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会



この広報誌は、会費・寄付金や、共同募金の配分を受けて作成されています。

ふちがみ きみこ
淵上 公子さん

(昭和22年11月30日生まれ 73歳)

長崎市の中心部にある上町で、4人兄弟の末っ子として誕生。諏訪神社が幼い頃の遊び場で、幼い頃の記憶としては、近所にいた大きな犬と一緒に寝っ転がって遊んでいたそうです。

学校を卒業し、音響機器メーカーの経理職として就職。

24歳で結婚し、3人のお子さんを育てられました。

ご主人の転勤で県内の様々なところへ。その後は、以前居住していたことのある佐世保市へ移住されました。

現在、活動されていることを教えてください。



* 2歳の頃の淵上さん。

お孫さんの世話をしながら、ある程度時間が持てるようになって、新聞広告に掲載されていた「市民後見人養成研修」の募集に目が留まったそうです。

以前、銀行での窓口業務で、高齢のお客さんから金銭被害などの話を聞いて、「何かできないか」と思い、成年後見制度の市民後見人としての研修に応募。県内初の市民後見人となりました。

毎回、被後見人との面会時は、笑顔で傾聴の姿勢を絶やさないそうです。そのことでお互いの信頼関係を築くことができたとのことでした。中でも一番の思い出は、被後見人が長年希望していた「お墓参り」を叶えたいと思い、施設職員さんなど関係者が一つになり、墓参りを実現されたことだそうです。

「その時(被後見人が)いい笑顔をされて、すぐ喜んでくれている姿を見て、こちら(後見人)支えられていることを知りました。」と淵上さんはおっしゃいます。

成年後見制度は、後見人が被後見人に代わって財産管理や身上監護を行います。その業務は、お互いの信頼関係が大変重要となります。



* 被後見人とリモートで面会。(病院にて)

淵上さんは、初対面でも、相手を緊張させず、笑顔と気さくな雰囲気を持っておられ、当社協「させぼ成年後見センター」が受任している被後見人等の方々からも厚い信頼を受けています。

2025年をどういきますか?

「その時(2025年)は、私も後期高齢者。自分も介護を受ける立場になることもありますよね。その為には、みんなで支え合っていないといけませんよね。」

「今、ご近所の方たちと話しをしているのは、近所の人たちで、ちょっとした集まり(サロン)をやりたいですね。ずっと住み慣れたところで生活していきたいから。」とにこやかに答えられていました。



* 被後見人の入院費を支払う。(病院にて)

成年後見制度とは

対象

判断能力の低下された方
(認知症や障害を持った方など)

内容

- 財産管理… 口座からの払出・入金、入院費や入所費用の支払いなど。
- 身上監護… 施設入所等の契約、福祉サービス等の手続きなど。

後見人

後見の業務を被後見人に代わって行います。



被後見人

判断能力が低下して、自身で財産管理等ができにくい方。

詳しくは

させぼ成年後見センターへお尋ねください。
佐世保市八幡町6-1(佐世保市社会福祉協議会内)
TEL0956-22-1020(直通)

(昭和22年11月2日生まれ 73歳)

北九十九島を眺める田平町で4人兄弟の長男として誕生。学校を卒業して、地元企業に就職。24歳で結婚し、3人のお子さんを授かる。60歳定年までは、仕事ばかりの人生だったそうです。現在は、ご家族と佐世保市にお住まいです。



* 5歳の頃の松崎さん。

今までの活動をお話いただけますか？

定年後、「まだまだ何かやりたい」「人生の中で、人を相手にする仕事をしたい」との気持ちから、ある勉強会でボランティアセンターのチラシを見て、ボランティアセンターに登録をされたそうです。

ボランティアの活動と並行して、障害者福祉施設に就職。65歳で定年を迎え、次に高齢者施設へ。障がいの方とは異なり、入浴や食事の介助には、かなり体力が必要とのこと。しかし「入所者の方々とおしゃべりをする事で親しみが湧いてくるんですよ。人はみないいい人ばかりですよ。」と笑顔で答えられていました。

松崎さんにコミュニケーションのコツをお聞きすると「こちらから積極的に話をするようにしてます。最初は挨拶を交わしますが、そこに一言添えるんです。そしたら、話の幅が広がるでしょ？そうすると、今度は顔を覚えてもらえるんですよ。」とのことでした。あまり話をしない方が、少しずつ会話をするようになってくれることが、一番の励みになると松崎さんはおっしゃいます。

現在はどうのような活動をされていますか？

高齢者施設で3度目の定年を迎え、次は定年のない活動をしていこう!! と、以前から続けていた話し相手ボランティアなどに加えて、交通指導員を始められました。毎日児童と一緒に登校し、事故や防犯に気を配る活動の中、会話を通して「子供たちの成長



* 交通指導員として児童を毎朝見守っています。

や考えが見えてくるんです。子供からパワーをもらっています。」なお、松崎さんは、現在、文化協会の活動もされており、人が成長していくためには、文化が必要だと言われます。

「代々大事にしているものを引継いでいく。子どもたちの登校時には、福井洞穴の話しとかもするんです。このように、子どもたちに引き継いでいくことが大切です。」とのこと。

松崎さん様々なことをされていますが、そのモチベーション(気力)は何ですか？

「私ね、人が好きなんです。今まで嫌いな人にあつたことがないんです。」とマスクの下から笑顔がこぼれるくらいの満面の笑みで答えられます。

「私の人生訓は『和顔愛語(わげんあいご)』と『報恩謝徳(ほうおんしゃとく)』です。

2025年をどういきますか？



* 笑顔で答えられる松崎さん。

「定年のない人生を歩んでいきたいです。自分の気力、体力が続くまでやりたいです。」

交通指導員やボランティア活動、自治活動など定年がないとのことで、今後もこの活動を続けていきたいとのことでした。

ボランティアセンターでは

内容

- 活動に関する相談、調整
- 活動に関する情報の収取、提供
- 講座、研修会などの開催
- ボランティア活動の支援
- 情報の提供



ボランティア活動をしたい方とボランティアを受け入れたい方をつないだり、ボランティア活動に関する情報の提供や活動に関する相談をお受けしております。

詳しくは

ボランティアセンターへお尋ねください。
佐世保市戸尾町5-1させぼ市民活動交流プラザ1階
TEL0956-23-3905 (直通)

- ◆ 開館時間 / 10:00~18:45 (火~土) 10:00~17:00 (日)
- ◆ 休館日 / 月曜・祝日・年末年始・プラザ休館日

ボランティア活動団体応援プロジェクト ご報告

「新型コロナウイルス感染症」が発生し、みなさんの生活に様々な支障をきたしています。その課題解決に向け活動されているNPO法人やボランティア団体などが継続的に社会貢献活動ができるように、感染症対策に係る活動の支援を行うため、佐世保市社会福祉協議会は、今年度、「ボランティア活動団体応援プロジェクト」を立ち上げました。9つのボランティア団体や学校などから申請をいただきましたので、その活動の一部をご紹介します。

佐世保工業高等専門学校



猪原先生の指導の下、物質工学科の学生を中心に有志で集まった皆さんが、放課後などを利用して1,000個の石鹸を作製。

有志で集まれた学生の皆さん



崎辺中学校



黒髪小学校



天神小学校

新型コロナウイルス感染症防止のため、こまめな手洗いが重要であるとの観点から、**自発的に楽しく手洗いができるような石鹸**を作製し、市内小中学校へ配付しました！



石鹸を作製中

女子学生が多い物質工学科。

かわいい色使いとそれぞれの学科の特徴をあらわしたキャラクターが石鹸の中に入っています。

介護者のつどい



「介護者の集い」のみなさん

「介護者のつどい」の皆さんは、20数年前から、家族の介護を通じて集まり、現在も、介護などの勉強をされています。



「介護者のつどい」の皆さんが活動拠点としている世知原地区の世知原中学校生徒と教員の皆さんへ300枚の手作りマスクを贈呈されました。



世知原地区にあった石橋やお茶の絵をプリントしています。

紐の部分は、長さが調節できるように工夫されています。

なかしも元気クラブ

なかしも元気クラブは、町内の住民を対象としてサロン活動を行っている団体です。

毎年行ってきた敬老会が新型コロナウイルス感染症防止のため中止となり、町内の敬老者(141名)に手作りマスクを作製されました。



手作りマスクと町内会からお菓子が敬老者へ配られました。



町内を代表して最年長の村岡マスエさんへ手作りマスクの贈呈を行いました。

聖和女子学院中学校 (Sクラブ)

Sクラブは、34名の生徒が所属していて、古切手やペットボトルキャップ、ベルマークなどを集めたり、校内美化活動や募金活動などのボランティア活動を行っています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限される中、自分たちに何かできないかということで、手作りマスクと手作り石鹸を作製されました。



長寿苑の皆さん、木原様、Sクラブ生徒さん、松永先生



施設利用者を代表して木原様へ手作りマスクと石鹸の贈呈を行いました。



今回、4つの団体を紹介させていただきましたが、他にも5団体(以下のとおり)がフェイスシールドづくりやフードパントリーを行うなど、コロナ禍において、感染症対策に係る活動をされています。

- ・宝ハウス(子ども食堂)
- ・西小佐世保婦人部会(町内会)
- ・親子いこいの広場もくもく(子ども食堂)
- ・ワクワクくらぶ(子ども食堂)
- ・地域食堂えんち(子ども食堂)



令和2年度 共同募金運動への ご協力ありがとうございました。



今年度の共同募金運動（赤い羽根募金・歳末たすけあい募金）は、新型コロナウイルス感染症の影響から、募金活動を制限する方針が示されておりました。

市民の皆様におかれましても、普段の生活において多大な影響が生じたことと思います。このような社会情勢の中、本年も心温まる多くの募金が集まりました。ご協力をいただきました皆様には心よりお礼申し上げます。

この活動は、各町内会をはじめ、市内の各種団体、学校、企業の皆様のご協力によって成り立っており、皆様からの募金は、地域サロン活動の支援、ふくし教育、福祉人材の育成、相談支援など地域の困りごとや課題解決に向けた様々な地域福祉活動に役立てていきます。



令和2年度 実績

赤い羽根共同募金 31,077,379円
歳末たすけあい募金 4,567,068円



歳末たすけあい募金配分金事業 報告

令和2年度の「歳末たすけあい募金」は、皆様から多くの募金をお寄せいただきました。

この募金を財源に本会においては、

- ①児童養護施設入所児童に対する福祉見舞金の配布
- ②小災害（火災等）に遭われた世帯への小災害見舞金の配付
- ③子ども食堂への支援
- ④貸出用福祉機器・サロン遊具等の設備を行いました。

募金にご協力いただきました皆様には、心よりお礼申し上げます。

*ご協力いただきました皆様（個人については5,000円以上）のご芳名は、佐世保市社会福祉協議会のホームページに掲載させていただいております。

この他にも、市内町内会・公民館・自治会等の皆様、民生委員・児童委員の皆様のご協力により多くの募金が集まりました。誠にありがとうございました。

お知らせ

ひとりじゃないよ!
抱え込まないで。

お金の問題

仕事の問題

家庭の問題

ひきこもり

など

ひとりで悩まず、まずはご相談ください。

☎0956-23-0265
佐世保市社会福祉協議会

相談無料

秘密厳守

ボランティア活動保険の 更新時期です!!

ボランティア活動保険は、ボランティア活動をされる方が、活動中の事故やケガ、相手や物に対しての損害に備えて加入される保険です。

補償期間が4月1日～翌年の3月31日までとなりますので、4月からのボランティア活動に向けて受付を社会福祉協議会またはボランティアセンターで行っております。

年間保険料

*一人あたりの保険料

基本プラン	350円
天災・地震補償プラン	500円

小さな掛け金で大きな補償となっておりますので、安心安全のためにも加入をお勧めします。

詳しい内容につきましては、佐世保市社会福祉協議会までお気軽にお尋ねください。

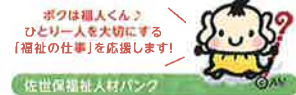


「福祉のお仕事」 「福祉関係の人材」を お探しの方

佐世保福祉人材バンクでは、福祉のお仕事の紹介・資格取得のご相談・求人情報提供など、就職活動のお手伝いをいたします。

福祉のお仕事に関心はあるけど、どんな仕事があるのか分からない等、福祉のお仕事の疑問にもお答えします。

福祉のお仕事に就職を希望する方や関心のある方、また人材をお探しの福祉施設・事業所の採用担当の方々など、お気軽にご相談ください!



佐世保福祉人材バンク

〒857-0028 佐世保市八幡町 6-1
(佐世保市社会福祉協議会内)

☎0956-24-1184 *社協HPに詳細を掲載しています。

ご存じですか? 声の社協だより



佐世保市社会福祉協議会では、年3回発行している「社協だより」を佐世保市視覚障害者協会に委託して、ボランティアグループ「佐世保音声訳の会」に声で吹き込んだCD（「声の社協だより」）を作成していただいています。

対象

市内在住の視覚障害者等の方

方法

佐世保市視覚障害者協会にお尋ねください
(☎24-9407)

貸出
内容

貸出しは無料です。
なお郵送料も無料となります。



善意のご芳志ありがとうございました

《個人》	信國 比出雄様 (矢峰町)	中村 眞喜男様 (星和台町)	中村 幸子様 (小佐々町楠泊)
	濱田 ミツ工様 (小佐々町矢岳)	淵上 慎治朗様 (吉井町直谷)	山田 静子様 (吉井町吉元)
	立石 ツヤ子様 (世知原町太田)	松永 静雄様 (世知原町赤木場)	富本 志様 (江迎町末橋)
	稲垣 フサ子様 (宇久町神浦)	三浦 富代様 (宇久町神浦)	畠 政彦様 (宇久町神浦)
	瀬尾 俊郎様 (宇久町神浦)	神部 富行様 (宇久町飯良)	松本 繁満様 (宇久町平)
	西 令子様 (宇久町平)	松雪 孝典様 (宇久町平)	泊 吉弘様 (宇久町平)
	柄本 富美雄様 (宇久町平)	山口 邦男様 (宇久町平)	菅 梅子様 (宇久町野方)

- | | | |
|------|------------------------|--------------------|
| 《団体》 | ●Holiday yogaイベントグループ | ●世界平和統一家庭連合佐世保家庭教会 |
| | ●シルクミュージックジョイントプロダクション | ●西海物産協栄会 |
| | ●鹿町工業高校 生徒会 | ●くわ焼の店たご政 石井義矩様 |
| | ●(宗) 真如苑 | ●五島ヤクルト販売 (株) |

*今回は2020年8月24日～2021年1月15日までに頂いた寄付を掲載させていただきました。
1月16日以降に頂いた寄付のご芳名は、次回113号(2021年7月発行)に掲載させていただきます。

社会福祉協議会では、香典返しの寄付や募金などの一般寄付をいただいております。これらの浄財は、様々な福祉事業に活用させていただいております。また、香典返しをご寄付いただいた方には、挨拶状(忌明け礼状)の印刷をしております(枚数は金額に応じます)。詳しくは、社協までお気軽にお問合せください。

ご寄付をいただきました

地域のために、有効に
活用させていただきます



たご政の石井様は、1999年(平成11年)から毎年9月19日(九十九島の日)にチャリティを開催され、その益金で佐世保市や社会福祉協議会へ車椅子の寄贈を続けておられます。

石井様がこれまで寄贈された車いすは、今回の2台を合わせて51台(内、社会福祉協議会へ42台)となりました。無料貸し出しとして活用させていただいておりますので、お気軽にご利用ください。



令和2年12月10日、宗教法人真如苑様からご寄付をいただきました。真如苑様は、全国各地で社会貢献活動を行われており、災害等の支援についても積極的にとりまかれております。

この度、活動の一環として、本会へご寄付をいただきました。佐世保市の地域福祉向上のために活用させていただきます。

LET'S

あたまのストレッチ

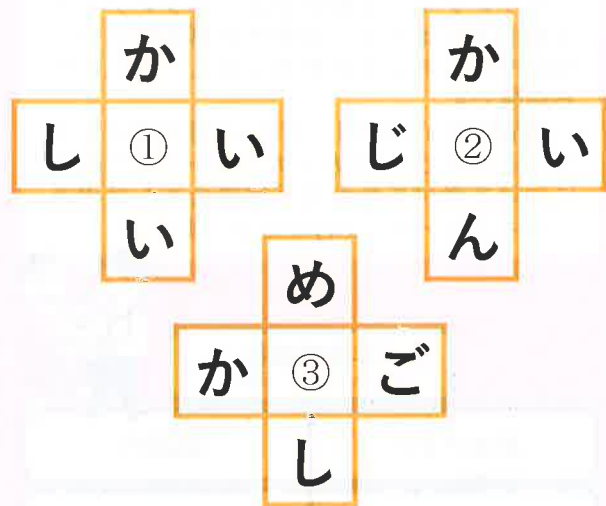
空欄にひらがなを入れ、①～③の文字を使って単語を完成させてください。

【応募方法】

- ・はがきかメールに氏名・住所・年齢・答え・社協だよりの感想やご意見を書いて社会福祉協議会へご応募ください。
- ・抽選で15名の方に図書カードをプレゼントいたします。

【締め切り】

令和3年3月31日(水) 必着



前回の答えは「あかいはね」でした。「赤い羽根共同募金の不思議」の感想が多くありました。知っていそうで、知らないことも結構多くありますね。

【問合せ先】 社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会
〒857-0028 佐世保市八幡町6-1 ☎:0956-23-3174
FAX:0956-23-3175 ✉:ura@sasebo-shakyo.or.jp

